

新入生のみなさまへ 大阪府警からのお知らせとお願い

強制わいせつ について知っていますか？

「強制わいせつ」とは？

例えば、暴行（後ろから押し倒す等）や、脅迫（凶器を示したり、「おとなしくしろ、ケガするぞ！」と脅す等）をして、わいせつな行為をする犯罪です。

936 件

平成28年中大阪府下の
強制わいせつの認知件数

この件数は・・・**全国最多**です！

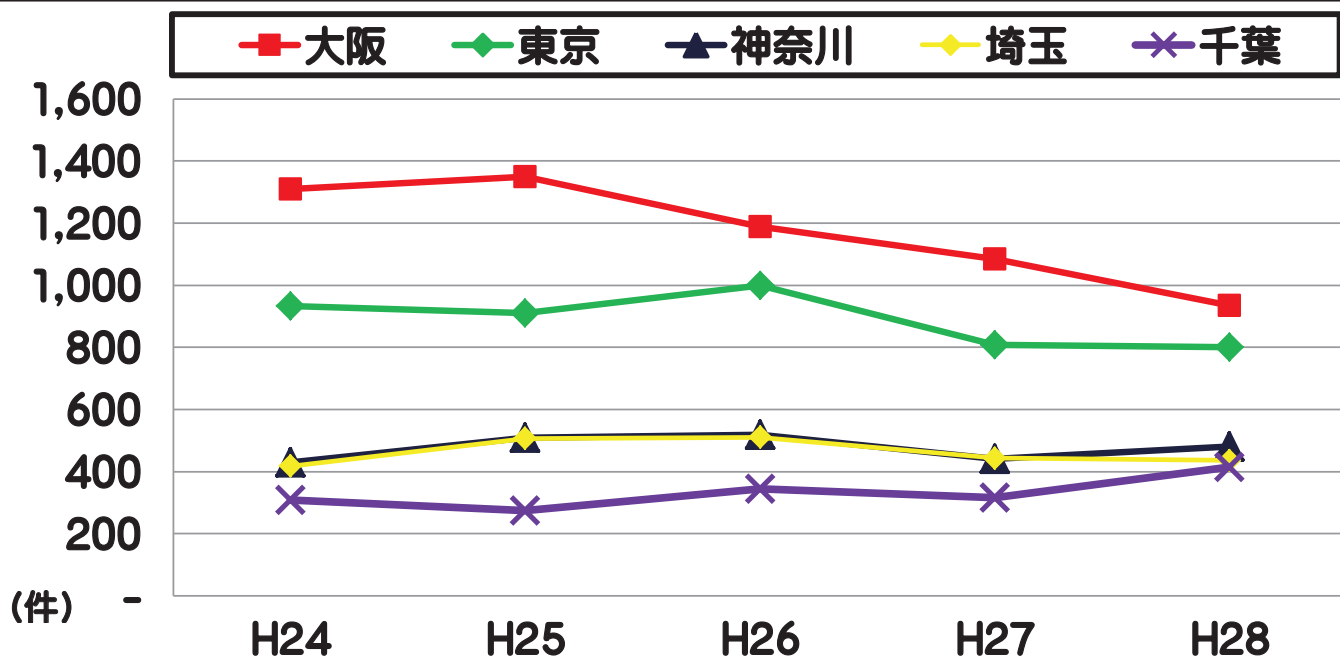
過去5年間で最も多かった平成25年と比べると、413件（約30.6%）減少していますが、2位の東京を135件上回り、全国最多となっています。

被害者を年代別にみると、20歳代が最も多く、10歳代及び20歳代が全体の**約80%**を占めています！

では、具体的な発生状況を見てみましょう。

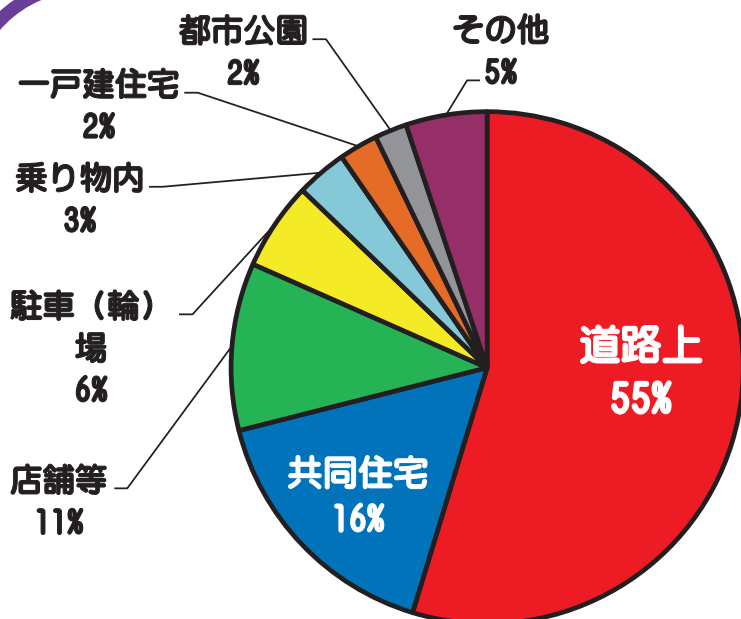
強制わいせつ発生状況(平成28年中)

ワースト5都府県の認知件数の推移(過去5年)



認知件数とは、警察に被害の届出がなされた件数のことです。
特に性的な犯罪の場合、被害に遭われた方が届出をされないケースが大変多いものと推測されます。

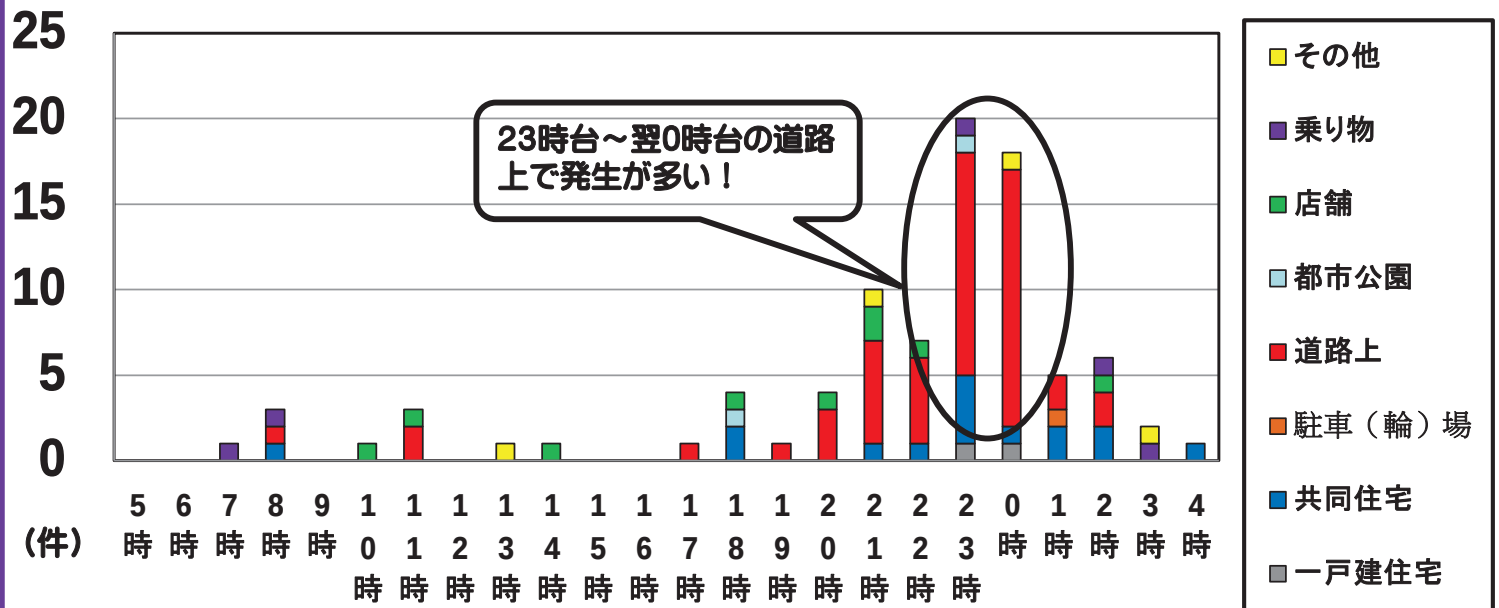
発生の多い場所



発生場所は、**道路上が約55%、共同住宅が約16%**となっています。

共同住宅とは、一つの建物の中に複数の世帯が入居している集合住宅のことで、マンションやアパート等です。

大学生・短大生の被害時間・場所



どんなときに、どこで、どのような被害にあっているのか

どんなときに...

- ・アルバイトからの帰宅途中
- ・友達と遊んだ後の帰宅途中

どこで...

・道路上で

どのような...

・後方から抱きつかれるケース

が多くなっています。



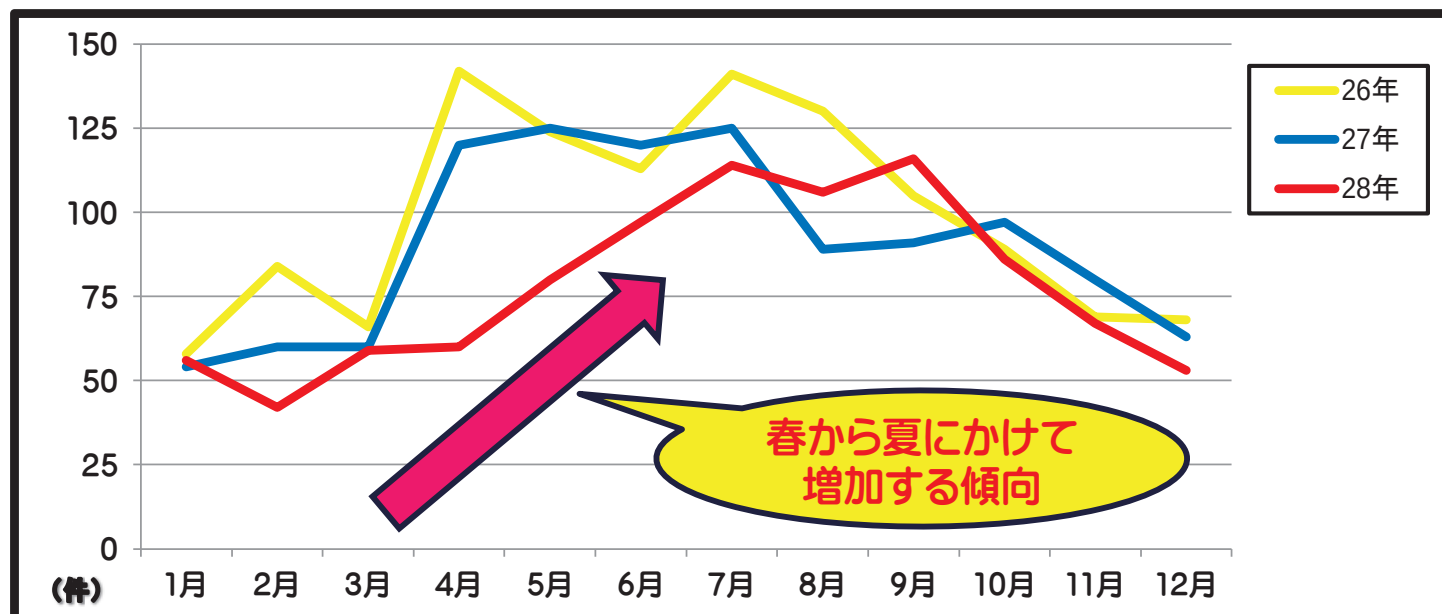
・携帯電話を使用しながら、イヤホンで音楽を聴きながら、などの「**ながら歩き**」中の被害も多発しています。

・マンションの敷地内でも安心はできません！

エントランス、エレベーター、通路、階段等の共用スペースでも被害が発生しています。 ➡ **家の中に入って鍵を閉めるまで周りに不審者がいないか注意！**

・就寝中に鍵の掛かっていない玄関や窓から部屋の中に侵入されて、強姦や強制わいせつの被害に遭うケースも発生しています！ ➡ **在宅中でも施錠は確実に！特に寝る前には鍵がかかっているか必ず確認！** ※高層階の部屋でも侵入されています！

強制わいせつ月別認知状況(過去3年)



防犯ブザーを活用しましょう！

被害に遭いそうになったときに大声を出して、犯人が逃走したケースがありますが、恐怖で声が出なかったり、大声を出しても、犯行が中断されなかったりというケースもあります。

いざという時のために、「**防犯ブザー**」の活用が効果的です。



【実際に防犯ブザーが活用され、犯行が中断されたケース】

- 見知らぬ男に後方から羽交い締めになれ、押し倒され、「静かにしろ」と脅された女性は、恐怖のため声を出せなかったが、トートバッグに付けていた防犯ブザーを鳴らすと、男は犯行を止め逃走した。
- 後をつけてきた見知らぬ男に腕を掴まれた女性は、大声を出して助けを求めたところ、一瞬男はひるんだが、犯行を止めず更に女性を押し倒した。この時、女性が鞆につけていた防犯ブザーを鳴らすと、男は犯行を止め逃走した。その後、大声や防犯ブザーの音を聞いた近隣住民が110番通報を行った。

いざという時のために！！



- ・外出時には携帯しておきましょう。
- ・すぐ使えるように、鞆の持ち手に装着したり、手に持つようにしましょう。
- ・いざという時に備えて、シミュレーションしておきましょう。
- ・電池切れ、故障等がないか、日頃から点検しておきましょう。

あなたの通う大学(短期大学)は、 「防犯キャンパスネットワーク大阪」参加校です！

女子学生を性犯罪被害から守るために、大学・短期大学と大阪府警察が連携する「防犯キャンパスネットワーク大阪(通称BCN)」が、平成25年9月に設立されました。

大阪府警察からの性犯罪発生情報等の発信や、担当者会議の開催等、ネットワーク内において情報を共有し、性犯罪被害防止対策を推進しています。



「防犯キャンパスネットワーク大阪(通称BCN)」

とは？



全参加校には、万が一性犯罪被害に遭った時に、身近な環境で安心して相談してもらえるよう、府警本部で講習を受けた女性職員が対応する、女性被害相談窓口が設けられています。

このネットワークは、学生の皆さんに「安心・安全なキャンパスライフ」を送ってほしいという思いで運営されています。ぜひ、BCNを有効活用し、安心して楽しいキャンパスライフを！

大学生・短大生の強制わいせつ被害は、BCNが発足された平成25年の認知件数に比べると、平成28年中の認知件数は約37%減少しています。ですが、まだまだたくさんの学生が被害に遭い、いやな思いをされています。

昨年学内で行った防犯ブザー配布キャンペーンでは、学生の皆さんも参加して、「被害に遭わないように」と呼びかけてくれました。

今後も皆さんとともに、性犯罪の被害を少しでも減らしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

防犯リーフレット 「キャンパス外でのこんなとき、危ないかも？」

科学警察研究所(警察の関係機関)と大阪府警が連携して大学生、短大生の犯罪被害防止を目的に、BCN参加校に在籍する学生(1,000人以上)の皆さんに協力いただきアンケート調査を行いました。科学警察研究所の研究員が分析を行い、その結果を基に犯罪被害に遭う際の**被害者の行動パターン**等をまとめ、**被害に遭わないように注意を呼びかけるリーフレット**を作成しました。

リーフレットの内容をご確認いただき、防犯対策にご活用ください。

BCN 女子学生を守る最先端の取り組み 防犯キャンパスネットワーク大阪

『防犯キャンパスネットワーク大阪』は大阪府警察と大阪府内の大学が連携して若い女性の犯罪被害防止や被害者のケアに取り組むため2013年に設立されました。活動内容は、大阪府警察からの犯罪被害防止などの情報発信、担当者会議の開催などネットワーク内において情報を共有し、犯罪被害防止対策を推進しています。また、内閣府で調査を受けた女性担当者による「女性被害相談窓口」を設置し、被害学生の支援なども視野に入れた活動を行っています。2016年1月4日現在、ネットワーク参加大学は大学・短期大学合わせて、76大学となっております。

緊急のときは
110番を！

相談は
「警察相談専用電話」

#9110

※平日9時～17時45分(勤務時間外・土・日は当番対応)

性犯罪被害相談専門ダイヤル
「ウーマンライン」

06-6941-0110

※平日9時から20時、女性警察官が対応します

※土・日曜は留守番電話対応

キャンパス外での
こんなとき、
危ないかも？

防犯のポイントに気づく

犯罪
科学
この
罪を
るた
会な
防犯
るの
と、
今後
研究
費で



防犯ブザーのポイント

いざというとき防犯ブザーを使う人たちは、
電池の点検もして、
普段から使い方に慣れています。
繁華街に行くときや
帰りが遅いときは持ち歩くように
してはどうでしょうか。



どれくらいの人が被害にあっているの？

女子大学生1000人から聞きました

ゆからまれた・言いがかり	259人
ゆ声かけ(車に乗り込むなど)	148人
ゆ強盗(電車・バス)	119人
ゆさわれた・抱きつかれたなど	93人
ゆつきまとい(待ち伏せ含む)	62人
ゆわりやりに車に連れ込まれた	6人

ながら歩きは色ない!!

携帯電話をかけたリ画面を見ながらの
「ながら歩き」は危険なので、
やめましょう。



危ないと感じたら、その場からすぐに逃げる、110番する、防犯ブザーを鳴らすなど、危険回避を!!